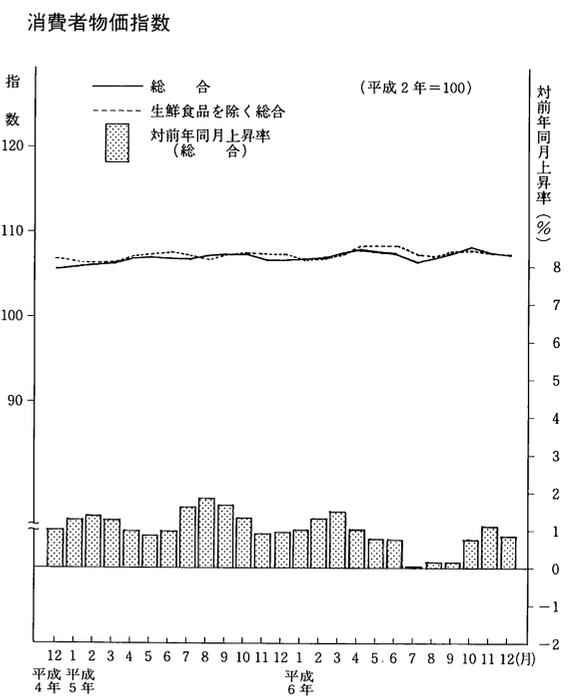
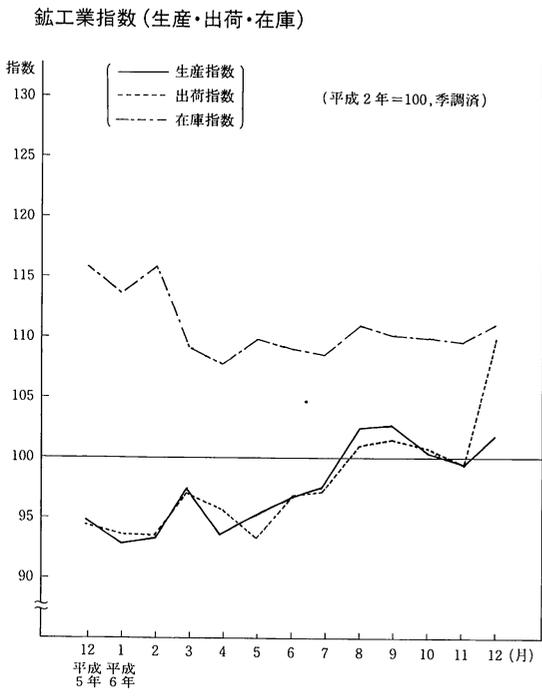
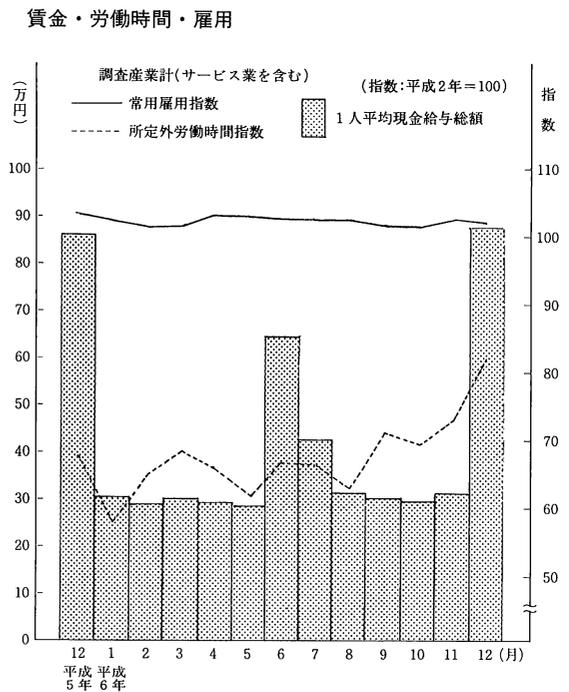
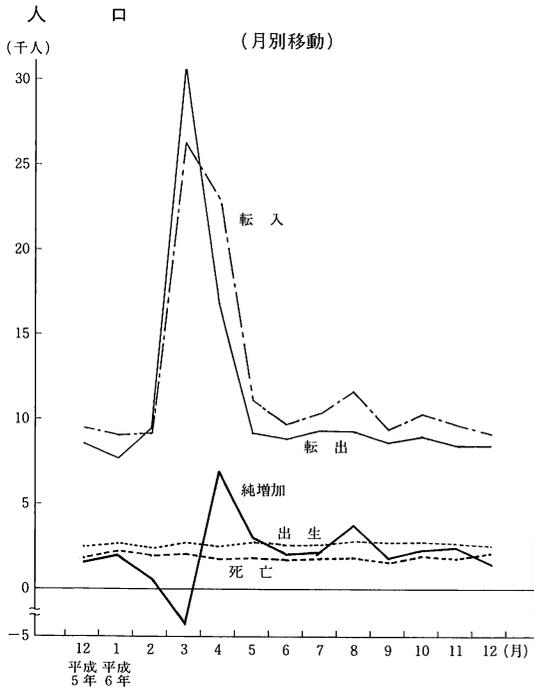


今月の主な動き



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (1月1日)

本県の人口は、12月中に1,231人増加し、1月1日現在で、2,954,542人(男1,477,152人, 女1,477,390人)となった。

内訳は、自然動態で525人(出生2,327人, 死亡1,802人)増加し、社会動態で706人(転入9,081人, 転出8,375人)増加した。前年同月と比べると22,139人(0.75%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が12市44町村, 減少が6市21町村, 増減なしが1市2村である。

世帯数についても12月中に、317世帯増加し915,949世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (12月)

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で871,767円, 対前年同月比1.1%増, このうち、きまって支給する給与は305,015円, 対前年同月比4.6%増であった。また、このうち、所定内給与は276,077円, 対前年同月比3.8%増であり、超過労働給与は28,938円, 対前年同月比12.0%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.6%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての間合せにも応じます。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で164.5時間, 対前年同月比0.2%減であった。このうち、所定内労働時間は148.6時間, 対前年同月比1.9%増, 所定外労働時間は、15.9時間, 対前年同月比20.6%増であった。

3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.1%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (12月)

本県における平成6年12月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が101.9, 出荷が110.0, 在庫が111.0で、前月比は、生産が2.4%の上昇, 出荷が10.7%の上昇, 在庫が1.3%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が7.3%の上昇, 出荷が16.6%の上昇, 在庫が4.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業, 精密機械工業, 一般機械工業等が上昇し鉱業, 繊維工業, その他工業等が低下した。出荷では、一般機械工業, 電気機

械工業, 輸送工業等が上昇し、窯業・土石製品工業, その他工業, 鉱業等が低下した。在庫では、精密機械工業, 食料品・たばこ工業, 鉱業等が上昇し、電気機械工業, 石油・石炭製品工業, 一般機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財, 建設財等すべてが上昇した。出荷では、資本財, その他用生産財等が上昇し、建設財, 非耐久消費財が低下した。在庫では、非耐久消費財, 建設財等が上昇し、資本財, 耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (12月)

平成6年12月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で107.5(平成2年=100)となり、前月比0.3%の下落, 前年同月比0.9%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……果物3.8%, 調理食品1.4%, 穀類1.3%

今月の下がった主な項目……野菜・海草5.6%, 他の光熱2.4%, 外食1.6%, 履物類1.5%

生鮮食品を除く総合は107.7となり、前月比0.1%の下落, 前年同月比は0.4%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	107.5	△0.3	0.9	保健医療	102.6	△0.2	0.0
食料	106.1	△0.8	1.0	交通通信	99.0	0.0	△0.6
住居	115.7	0.1	1.9	教 育	114.0	0.0	3.5
光熱・水道	102.5	△0.1	0.4	教養娯楽	109.7	0.2	0.7
家具・家事用品	99.1	0.0	△1.4	諸 雑 費	104.7	0.0	1.6
被服及び履物	115.2	△0.5	1.1	生鮮食品を除く総合	107.7	△0.1	0.4